

学生の街 京都 ～国勢調査から～

春になり、新たな門出を迎えた方も多いかと思えます。進学や就職のため、転居をした方もおられるのではないのでしょうか。京都は学生の街だとよく言われますが、本当にそうでしょうか。

平成22年に国勢調査が行われ、現在の日本の状況が順次明らかになっています。図1は、全国と京都府の人口割合を表したものです。各年齢ともあまり差がありませんが、20～24歳では京都府の割合が特に高くなっています。それは、やはり学生が多いからなのでしょう。

次に、20～24歳の在学中の方の人口割合について見てみたいと思います。図2と図3は、全国と京都府の20～24歳の方が在学者かそうでないか、在学者であるならば5年前はどこに住んでいたかを表すものです。京都府は全国より在学者の方の割合が16ポイントも高く、またその方々の約4割が5年前は他府県に住んでおられた結果になっています。この結果を見ても、他府県から京都に集まってくる学生が多いことがわかります。やはり、京都は学生の街だと言えます。

図1 全国及び京都府の人口割合（平成22年）

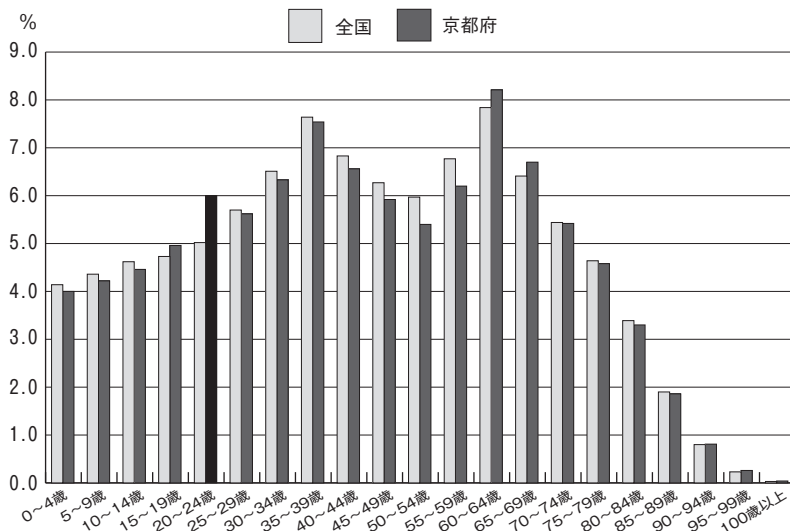


図2 在学者と5年前からの転入率(全国20～24歳)

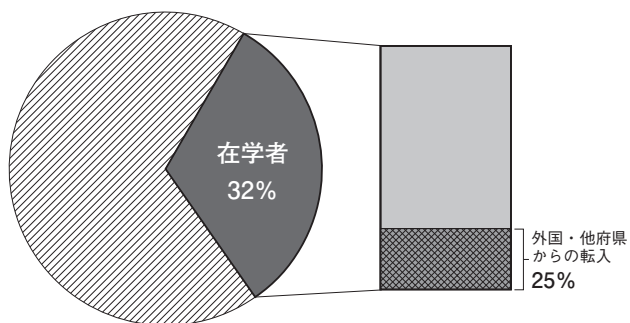


図3 在学者と5年前からの転入率(京都府20～24歳)

